

令和2年度 学校自己評価システムシート(山口学院 埼玉平成高等学校)

目指す学校像(ミッション)	進路実現に必要な学力や知識、厳しい社会を生き抜く資質や能力を身につけさせる
本年度の重点目標	1 AI時代に生き抜く力を育てる 2 「主体的・対話的・深い学び」への教育基軸のパラダイムシフトの実施 3 挨拶や礼儀をはじめとする基本的な生活習慣と思いやりの心を育む 4 一人ひとりの生徒に高い志(夢)を持たせ高い学力や教養を身につけさせる 5 より快適な教育環境づくりを推進する 6 募集定員確保及び質の高い生徒の獲得を目指す 7 健全なる学校運営を行う

評価	達成度
A	ほぼ達成(8割以上)
B	概ね達成(6割以上)
C	改善の兆し(4割以上)
D	不十分(4割未満)

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 3月8日現在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価指標	経過・達成状況	達成度	次年度の課題と改善策
1	・論理的なディベートやプレゼンテーションが充分にできる能力を身につけさせることを全校をあげて取り組む  ・しっかりと自己表現を身につけている生徒が少ない	次世代が求める人物像	・英語力を高める為に対策授業を実施して英語検定を全員で受検 ・毎週漢字・英単語テストを実施 ・授業での積極的な発言を促す指導 ・表現能力を高める為に各授業での指導を意識する ・ポートフォリオ(今未来手帳)の作成を通して、論理的に文章を組立てる	・各検定の合格者数 ・外部模擬試験の結果確認 ・今未来手帳の確認	・英語検定は2級に3名、準2級に53名、3級に144名合格した ・昨年より準2級は3倍、3級は2倍増であった ・また、3年生の3級以上取得率は42%であり、全校生徒の英検3級取得率は40%であった ・積極的に発言を促す授業が新型コロナ感染防止の為に実施出来なかった ・ポートフォリオの作成を通して言葉の大切さを意識させるとともに、文章の組み立てが徐々に出来るようになった	A	・3年間で個々の目標とする級に一人でも多く到達するように継続的な指導を徹底する ・検定対策の補講を一層充実させる為2次の面接対策を充実させる ・生徒の積極的な意見や考えを促す機会を多く設定していく
2	S特進コース 特進コース 進学コース 従前のコースに加え、新たなコースに適した授業法を開発して授業力を向上させる	教育基軸のパラダイムシフトの成果	・新学習指導要領対応の授業の実施 ・全教員参加型の教員研修会を実施し、資質向上に努める ・ICT教育の研究 ・コース制の充実と授業時数確保 ・入学予定者の学習指導の充実 入学手続き後中学総復習の課題を配付 再度モレ、ヌケの確認課題を配付 入学後確認テストを実施 ・家庭学習時間の確保 学習支援センターの活用 隙間時間の活用(1日2時間を推奨) スタディサブリの利用 ・朝食を摂らせる食育指導 ・能動的授業の推進 アクティブラーニングの実践 ・教科毎の研究・研修会の実施 ・模擬授業(研究授業)の実施 ・「感動」、「知的好奇心」を与える指導 ・科学的視野を広げ論理的な思考を育てるために校外施設の活用 ・公開授業(保護者・受験生対象)の実施	・家庭での自学時間が増加したかアンケート調査で確認 ・各コース毎のデータを基に伸長状況を確認 ・外部施設での調べ学習の成果をオープンスクールで発表 ・主体的な深い学びの為、調べ学習を探究の時間に導入 ・学習支援センター移転に伴う利用率の確認	・教員研修会を実施し、オンラインでホームルームを行う準備を整えた ・オンライン授業の準備としてWiFiの整備を完了させた ・入学予定者に課題を配付して入学までに中学までの復習を行わせた ・課題に対する確認テストが緊急事態宣言明けとなり、初期指導に遅れが出た ・S特進コースの理科探求の授業で黒山三滴の地層を調べ、それを基に論理的にまとめた ・家庭学習時間の確保として隙間時間の利用法の一つに学習支援センターを設置しているが、開始が2学期となった。 ・自粛要請や感染防止の観点から教員研修会が実施出来なかった ・3学年の受験に備え、補習・補講を充実させた ・夏季休業を短縮し、学習指導範囲の修得に努めた ・休業中は教職員も三密を避ける為学年毎輪番制で出勤し、生徒や保護者からの問い合わせに対応した	B	・入学予定者に対して早い時期から入学後の準備を行わせて不安を払拭する ・授業力向上に向けての教科研究会を継続的に行う ・対話型授業、協調学習等のアクティブ・ラーニングを活用した生徒参加型の授業形態の研究を継続して行う ・コロナ禍の状況に応じて「深い学び」を確立する為、外部機関などとの連携を図って行く ・ICT教具の活用方法の研究を各教科で継続して行う ・知的好奇心を育てる企画を立案する ・学習支援センターの活用による学習習慣の定着化を推進していく

実施日:令和3年3月26日
学校関係者からの意見・要望・評価等
・英語検定が定着し始めている。今後は3級は1・2年生までに50%取得を目標に設定して、3年生の受験期に負担にならないような計画をお願いしたい ・コースの専門性がはっきり出ていると感じる ・ポートフォリオは受験だけでなく、社会に出てからも必ず役立つので継続した指導をお願いしたい
・オンラインでのホームルームや授業に備えて先生方の負担は増すばかりだが、学習の定着率を上げる方法を研究して欲しい ・ICT教育の研究に今後も期待したい ・WiFi等の整備完了を保護者に伝えて欲しい ・コロナ禍でも安全・安心を優先しながら深い学びを実践する点は評価に値する ・学習支援センターの活用が活発になることを願う

3	校訓の「創造」・「自律」・「親切」をより具現化するため、目指すべき生徒像を ・「熱き心」を持ち ・「品位とけじめ」のある ・「思いやり」のある 生徒と設定し、指導を徹底する	生活指導の充実	・純粋(Purity)、礼儀(Propriety)、時間厳守(Punctuality)の3P主義を生徒指導の柱として指導 ・他を思いやる心を育成 ・失敗を恐れない姿勢の育成 ・個々が主役となれる場の設定 ・言葉遣いやマナー指導の徹底 ・公共交通機関・公共の場でのマナー向上 ・教育相談の充実 ・心理カウンセリングの有効利用	・生徒および保護者が生活習慣の確立及び向上を実感できたか ・教師が生徒と保護者との信頼関係を築けているか ・学校に寄せられる苦情への対応	・挨拶の励行を推進した ・ホームルームや学年集会等で、基本的な生活習慣や人権についての指導を行った ・例年実施しているSNSによる諸問題発生予防として外部より講師を招き全体への指導を実施しているが、今年度は感染防止の観点から実施出来なかった	A	・人権教育を一過性にせず継続的に指導を行う ・挨拶は教員自らが積極的に行い、お手本となる ・SNSに関する諸問題が大きな問題に発展しないよう日頃からの指導を徹底する ・安全防犯教室を通して、通学時の交通事故0件を実現する	・挨拶がしっかりとできて来た実感できる ・マナー向上を目指した教育を継続して ・ゆずるといふ優しい心の育成を今後も ・交通事故が今年度も1件あり、幸いにも大きな怪我ではなかったが0件を目標に指導を徹底して欲しい
4	生徒個々の進路目標を実現するため、補講・補習を一層充実し、より高い進路目標を掲げるよう指導する	進路指導の充実	・1年次より第1進路希望実現への意識づけ ・S特進コース生徒への学習促進 ・国公立・私立難関大学へ挑戦する志気を高める ・安易な学校選びをさせない ・補習・補講の充実 ・学習支援センターの有効活用 ・個票を活用してきめの細かい指導 ・進路指導室からの情報発信の拡充 ・各ガイダンスから進路目標実現に向けての徹底指導 ・夏期休業中のセミナーの充実 ・国家・地方公務員試験対策指導の充実 ・高大連携の推進	・昨年度の進路実績を上回る数字であるか ・補習や補講が充実したか ・進路希望調査で難関大学への希望者が増加したか ・学習支援センター活用生徒の継続性の確認 ・本校中学からの「先取り学習」を活かしたアドバンスコースの活用	・大学入学共通テスト利用者が35名であった得点を基に進路指導を丁寧に行った ・模擬テストの結果を分析して、二者面談や三者面談の指導に役立てた ・保護者対象の都内大学見学ツアーは中止となった ・通年補講や補習を充実させた ・サマーセミナーや共通テスト合宿は三密を避ける為中止となった ・進路の日をより具体化して、1年は職業調べ、2年生は進路目標設定に役立つ企画を立案した 特に三密を避ける為会場を本校とウェスタ川越の2会場に分散して実施した ・本校中学からの6年間の教科書(英・数)を使用	B	・模擬試験はコースの特性に合わせたものを実施し、事後指導を一層充実させる ・サマーセミナーやセンター合宿での成果を検証し、より効果の高い手法を確立する ・保護者参加型の進路の日や大学見学ツアー等の企画を行う	・1年次より3年後の自分を考えさせる進路指導は本校の進路実績を押し上げていると思う ・関東・全国大会を目指す小・中学生の獲得に努力し、一貫教育の魅力を一般の方に理解してもらえるようにすることが今後の募集活動に繋がると考える ・S特進の生徒への意識付けがしっかり指導されていると感じた
5	学習環境の改善に取り組み、情操教育を充実させ、校内の教育環境の充実を目指す	更なる快適な教育環境づくり	・図書館の環境整備 ・美化意識を高める指導 ・一流、本物に触れさせる機会 文楽鑑賞教室(希望者) 茶道体験教室(第3学年全員) 歌舞伎鑑賞教室(第3学年全員) 芸術鑑賞会(全校生徒)の実施 ・情操教育としてヒロ・ヤマガタの版画を校内に展示	・生徒および保護者へ校内環境への満足度をアンケートで確認	・図書館利用者が三密にならないよう注意しながら開館した ・校内の清掃等から美化意識を高める指導をホームルーム単位から行っている ・芸術鑑賞会は会館使用が中止となり、実施出来なかった ・情操教育の一環として行った版画や色紙の掲示をしている	D	・図書館で調べ学習が行えるように整備を行う ・校内の美化意識を高める指導を行う ・一流の物に触れさせ感性を磨く機会を設定する	・コロナ禍で行事が出来なかったこの項目は評価が出来ない ・生徒の安全面を配慮して、トイレの消毒を業者に任せていることを各家庭へ周知して欲しい ・保護者への情報発信を次年度の課題として欲しい
6	生徒募集活動を活発に展開し、質の高い生徒の入学を目指す	意欲のある生徒を募集	・全教員で中学校、塾訪問を実施 ・説明会で本校の教育内容と元気な学校づくりをアピール ・中学校へ講演会や出前授業の講師を派遣	・受験者数は増加したか ・過去年度の入学者の地域や特徴を分析	・全教員で感染防止に努めながら塾や中学校を訪問し、本校の教育活動を宣伝した ・塾主催の個別相談会・説明会が相次いで中止となり、本校の知名度を上げられなかった ・中学校からの講演依頼が激減した	B	・中学校や塾の要望を来年度の募集に役立てる ・入試システムを点検して、より受験者数の増加につながるよう改善していく	・本校の良さが口コミで広がる手法を研究して欲しい ・来年度に向けて、本校の宣伝の仕方を工夫して欲しい
7	教員一人ひとりの適性を活かした組織づくりを行い、明るい職場環境を目指す	組織の円滑な運営	・ハラスメントに関する意識を高める 対生徒への人権を尊重する 対教員への人権を尊重する ・職員室を整理整頓し、明るく話し易い環境をつくる ・新任の採用を順次行う ・新任研修会の充実	・人権は守られているか ・研修会は充実しているか	・校長より年度当初にグランドデザインを示す中で、生徒の人権を守るよう指示があった ・働き方改革として有休の取得を教員に呼び掛けた	B	・教員個々が更なる資質向上に努める ・生徒への接し方に関する研修を設定する ・教員自身の健康増進に関する研修会を設定する	・先生方の生徒への接し方やマナー向上が良い結果としてアンケートに表れている